

佐竹さんと私

優しくて、楽観な人

下書き

K めがね ; 労心怡

1、第一印象

私と佐竹彩花さんは4月18日に初めて会った。佐竹さんはピンク色の上着と茶色のズボンを着いた。彼女の装いを見たら、第一のイメージはやさしい女の子と思った。あの授業で、みんな自分の文化を話した。佐竹さんの「宮城文化」と「カレーライス文化」は私に深い印象を残した。「宮城文化」は佐竹さん自分の故郷の文化と分かった。故郷の景色や特産などを紹介くれて、自分の故郷が大好きと話した。そして、「カレーライス文化」と聞いたら、すごく面白いと思った。カレーライスは彼女一番好きな食べ物で、普通には自分の家でカレーライスを作って食べて、これは彼女の最も好きな仕事の一つだ。5月9日に5月16日の散歩の計画を話し合った。私たちのグループの中に、日本人は二人けど、秋田の出身はない。討論の間に、私はいつも間違いが出たが、佐竹さんはよく「大丈夫よ」と答えて、改めてくれて、とてもやさしいと感じた。5月18日に私たちは秋田駅前に行った。みんな秋田のお土産屋さんに行って、特産を食べたり、店員さんに一緒に写真を撮ってもらったりした。佐竹さんは私たちに秋田特産を紹介してくれて、宮城県の出身から、宮城県の特産との区別を説明した。その後、カフェに行くと、みんなコーヒーを飲んだり、デザートを食べたり、面白いことをシェアしたりした。私も自分の国を佐竹さんに紹介してあげた。同じ秋田大学の新入生なので、新入生の考え方を互いに話した。私は秋田大学の学部生の生活について興味を持っているから、日常生活のことをよく聞きたかった。佐竹さんも留学生の生活について興味を持っていて、皆さんと一緒に何か異なることを見付かった。それはとてもすばらしい記憶と思う。

三つの授業の接触を経て、佐竹さんはちゃんと私に優しい声で問題を答えて、顔もよく笑って、よく私に親切に対応した。アクティビティを決まったとき、よく皆さんの意

見を集め、自分の意見を話して、私たちのグルプリーダーと考えた。それ以上は佐竹さんに持った第一印象だ。

2、特に聞きたいテーマと自分自身のイメージと興味

私書いた「印象文」を佐竹さんに読んであげたら、70パーセントは似ていると言ってくれた。佐竹さんはほかの人から親切と言うことももらっても、自分でそんなことは単純じゃないかと思えた。彼女は自分の考え方が一面的で浅いことと想っていた。そして、彼女から、日常生活には時間がよく遅れて、どんなことも深く考えないと、もし誰か褒められたら、すぐ喜ぶと聞いた。

佐竹さんは今一人暮らしで、毎日自分で料理を作って、毎週友達と集めて活動をしている。今塾の先生のバイトをやっている、中学生の数学と英語を教えあげる。彼女の趣味は水泳で、今学校の水泳部に入って、毎週の水曜日と水曜日二回で部活をやっている。その他、陸上競技が大好きだ。最初私は陸上競技って何か分からないですが、説明してもらったら、少し驚いた！私の印象の中に、彼女はしとやかな女の子で、そんな激スポーツ大好きと聞いて、ちょっとびっくりした。そんなイメージは思えなかったが、たぶんそれは私の第一印象と似ていない30パーセントの一部だろう。

なぜかこの話題を選らんだと言うと、私と佐竹さんは同じ秋田大学の新入生だけど、留学生と日本人大学生の生活と勉強はぜんぜん違うと思った。そして、日本の大学生の最初の一年間、つまり一年生の大学生活はどんなことで興味を持っている。大学の部活とか、サークルとか、大学の中に面白いことを詳しく聞きたい。その他、佐竹さんは宮城県から秋田に勉強に行くから、私と同じ今も一人で住んでいる。普段に何か趣味を持っているか、つまらないときに何かしているかと聞きたいと、佐竹さんの大学活動を了解したいと思う。

3. 話し合いの結果

3. 1 6月6日の話し合い

6月6日に私と佐竹さんは教室で話し合った。誕生日とか、星座とか、いろいろなことを詳しく聞いた。彼女は今国際言語学部に勉強しているけど、専門はまだ決まらなかった。彼女は今フランス語を勉強していて、私も外国語を習うから、同じ話題があった。将来についてやりたい仕事は何かと聞いて、空港旅行関係会社に入りたいと答えた。彼女は英語が一番好きで、今後英語に関係がある仕事をやりたいと分かった。私も将来英語に関しての仕事をしたいから、彼女は私と同じ理想を持っている。私たち二人とも旅行が大好きで、将来に世界に回りたいという考えもある。

私たちはずっとリラックスな雰囲気です話した。同じ好きな食べ物、同じ旅行の趣味、同じ理想、いろいろな共通点があるから、私はよく間違いが出て、彼女の話ははっきり聞き取れなくても、全く意に介さなかった。始めから終わりまでずっと気楽で、ストレスがないで、楽しんで相談した。

3. 2 6月20日の話し合い

今回の話し合いも教室で行った。佐竹さんの学生生活をもっと詳しく知りたいので、今回相談したのはほぼすべて学校の活動だ。私は陸上競技の概念はよく分からなかったら、具体的なものを佐竹さんに聞いた。佐竹さんは中学校から高校までずっと陸上競技部に参加して、高跳びをやっていた。なぜか体育が好きというと、自分の健康を守るように、運動は幸せと答えた。そのきっかけに、秋田大学に入ったら、水泳部に参加した。私の印象の中に、日本の大学の運動サークルと部活はよく厳しくて、先輩たちは後輩の体力を強くなるために厳しい訓練を実行することもあるかもしれない。しかし、彼女は楽観的な態度を持っているから、つらいときがあったけど、いい友達と一緒にから、中学校と高校時代が一番幸せなときと答えた。

4. まとめ

何回のチャットで、私は佐竹さんと良好な友情を築きた。同じ趣味と愛好があるから、私たちは意気投合で、よく楽の雰囲気で世間話をしていた。彼女を話したときはと

でも嬉しかった。話題の内容とか、自分の意見とか、二人ともびったり合えた。私と話し合い時に、佐竹さんも自分の中学校と高校時代の楽しかった記憶を思い出して、笑っている顔を見たら、幸せな回想と分かっていた。佐竹さんは優しく、楽観な人で、単純な考え方を持っている。佐竹さんと話してみれば、第一印象は性格がしとやかだけど、深く了解した後、体育の陸上競技が大好きで、将来空港の会社に入りたいと言う理想から見ると、非常に積極的な人だと思う。

5. 授業を終えて

5. 1 文化、コミュニケーションとは何か

私にとって、文化は「文」と「化」二つ部分に分けられる。「文」は人間の考えている時空と内容で、つまり人の内在的なものだと思う。「化」は表されるものと形成されるもの。「文」と「化」を組み合わせたら、範囲はすごい大きくなる。地域文化、民族文化、国家文化の他、小さい角度から酒文化、食文化などいろいろもある。今学期の授業で、学生さん達は自分の関する文化を話した。自分の文化ということの範囲は狭いでも、人によって違う。しかし、相手と話していた間に、違うところを聞きながら、共通点も見つける。したがって、今学期の授業を基づいて、文化とコミュニケーションは自分の持っている思想と内包をほかの人にシェアして、自分のものを伝えていながら、相手のものも受け取れるということだと思う。

5. 2 授業について

難しかった点：インタビューのテーマは不定だから、範囲はちょっと広くて、入り込む角度は少しい大きかった。インタビューの深さは不足だと思う。

よかった点：インタビューで、相手の文化を考えることは直接の方法だと思う。

改善してほしい点：指定されたテーマをもらったほうがいいと思う。